

令和5年度 宗谷複式教育連盟 交流紙 あしたもともだち
研究主題『より良い解を導き出せる子の育成』
～少人数における対話的な学びの工夫を通して～

利尻町複式教育研究部会（利尻町立仙法志小学校）

1. 研究主題について

主題設定について

本校の研究は児童の資質・能力を育てることを目的とした実践研究であり、児童の現状に即するため単年度の研究を行っている。今年度は、「考えを表現はできるが、話し合いではなく発表会になってしまっている」「話し合っただけで『より良い解』を導き出す姿勢・力量がまだ不十分」という課題克服のため、本研究主題を設定した。

研究内容

（1）より良い解を導き出す対話的な学びの工夫

- ①子ども同士の協議・討議の進め方を身につけさせる手立て
- ②自他の考えの共通点と相違点を理解させる手立て
- ③根拠を明確にして、他者の考えに対する自分の考えを表明させる手立て

（2）子ども同士の協議・討議を行うための基礎となる力の育成

- ①自分の考えを持ち、まとめる力
- ②筋道立てて発表し、疑問をもって聞く力
- ③話し合う力
- ④自分やみんなの考えをまとめる力

2. オンライン学習などICT活用状況

本校は平成29年度に「ICT活用教育促進事業」に参加し、当時より一人一台端末の体制が整えられていた。また、学習への活用も進んでおり、ドリル学習はもちろん、写真や動画の撮影や調べ学習、発表活動等に日常的にICTを活用してきた。

新型コロナウイルスへの感染や吹雪による臨時休業等によって登校できない教員・児童には端末を活用したリモート授業を行うことで、子ども達の学びを保障することができた。

また、算数科や外国語においてデジタル教科書の活用を進めるとともに、町内や道外の小学校との合同リモート授業を行い、教育的効果を高めている。

令和6年度より、利尻町では全ての小中学校の1人1台端末にGoogle workspaceのアカウントを設定し、ICTの活用をさらに進める予定である。

3. 管内教育研究大会の様子

9月22日に「管内教育研究大会利尻島大会」が島内全小中学校を会場に開催され、管内の教職員が利尻島に集い、学びを深めることができた。

本校にも13名の先生方が来校し、公開授業では、少人数でも意欲的に発表する子ども達の姿に感心し、研究協議では、本校の研究に対して、堅苦しくない雰囲気の中、多くのご意見を頂くことができた。また、それをもとに本校の研究を大いに進めることができた。

4. 今後の方向性

本校の研究の様子

本校では、子ども達の資質・能力の育成を目指し、標題の主題をもとに校内研究を進めている。今年度は、7月3日の指導主事訪問では低学年、9月22日の管内教育研究大会では中・高学年が授業公開を行い、主体的、対話的な深い学びのある授業づくりについて意見交換をし、本校の研究を深めることができた。（写真：9月22日 管内教育研究大会）



令和6年度に向けて

現在は、今年度の研究を総括するとともに、新年度の教育課程編成を進めているところである。今後、令和6年度の新教育課程をもとに、本校児童の資質・能力をさらに育てることを目指した学校研究となるように研究計画づくりを進めていく。また、利尻富士町の複式部会や町内小中学校とのさらなる連携を進めていく。